

ながしま たかお  
本巢市 根尾地域 長島・高尾地区

令和2年度

### 【地域の概要】

- 根尾地域については、豊富な水と豊かな自然環境に恵まれ、土地改良を実施し大規模経営に適した耕作のしやすい農地が約40haあり、地域のブランド米である「根尾米」の生産を行っている。
- 一方で、本地域は人口減少及び高齢化により担い手はいるが十分ではなく、優良な農地であっても、今後10年以内に農地の不耕作が加速的に進行し、遊休化が懸念されるところである。

実質化した人・農地プランにおける担い手 27経営体（法人1 個人26）

### 取組開始前の状況や課題

○長島地区については土地改良された優良農地が約6haあるが、地域の主な営農者4名は高齢。うち1名は体調を崩し、今後の営農が困難となっていた。他の3名も現経営面積以上の耕作は困難で、農地所有者も農地として管理できる新たな耕作者を探していた。



【長島地区】  
一団の優良農地

国道157号線と  
根尾西谷川の間に  
約6畝がまとまっ  
ている

### 取組内容

- 平成31年から地域の主な営農者と農業委員が長島地区の農地調整に主体的に活動。
- 今後数十年耕作できる40代までの若手農業者を条件に、農地中間管理事業のマッチング会議で声かけを実施。これにより、糸貫地域の担い手が入作の意向を示した。
- 令和元年12月、地域の営農者、農業委員、担い手が話し合いを実施。その結果、体調を崩した営農者の耕作地を担い手が引き継ぎ、令和2年5月に農地中間管理事業により80aの農地を貸し付け、水稻の作付け開始。

作業受委託含むR3作付見込面積 2.1ha

○根尾地域は、糸貫地域と作期が1ヵ月ずれるため、担い手の現在の経営に影響が少なく規模拡大が可能であること、ブランド米生産に繋がることもマッチングの後押しとなった。

### 今後の展開と方向性

- 現在の営農者が耕作できない場合、当該担い手が引き受けることを話し合いで合意。
- 将来的に同地区の6ha全てを引き受け予定。
- 地区では後継者不足による農地の遊休化の不安が解消し、営農者と農地所有者は非常に安堵している。
- 〈露地野菜担い手への集積に波及〉
- 長島地区の事例の波及効果として、露地野菜の担い手が根尾地域で経営規模拡大したい相談に発展。
- 農業用水が災害で破損し、水稻の作付が困難となり農地所有者が耕作を断念していた農地を、地域の農業委員が農地所有者の意向を確認し利用調整。
- 露地野菜の担い手への農地中間管理事業による50aの貸し付けに繋がった。

【長島地区】 水稲作付



貸し付けした農地



作業委託地含む農地

令和2年はスマート農業として水管理システムなどを導入し、地域の営農者の助言を貰いながら、地域のブランド米「根尾米」作付けを行った。



根尾米 圃場

【高尾地区】 野菜作付



圃場整備済みの農地



貸し付けした農地



根尾米 刈り取り